

多機関連携型タイムライン策定状況調査について

資料5

- 平成30年7月豪雨をはじめ、近年各地で大水害が発生していることを受け、国は平成31年に「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、取り組むべき緊急行動計画を改定。
- 緊急行動計画の中に、多くの関係機関が防災行動を連携して実施するための行動計画となる多機関連携型タイムラインの作成が取組事項として記載。

市町タイムラインの現状

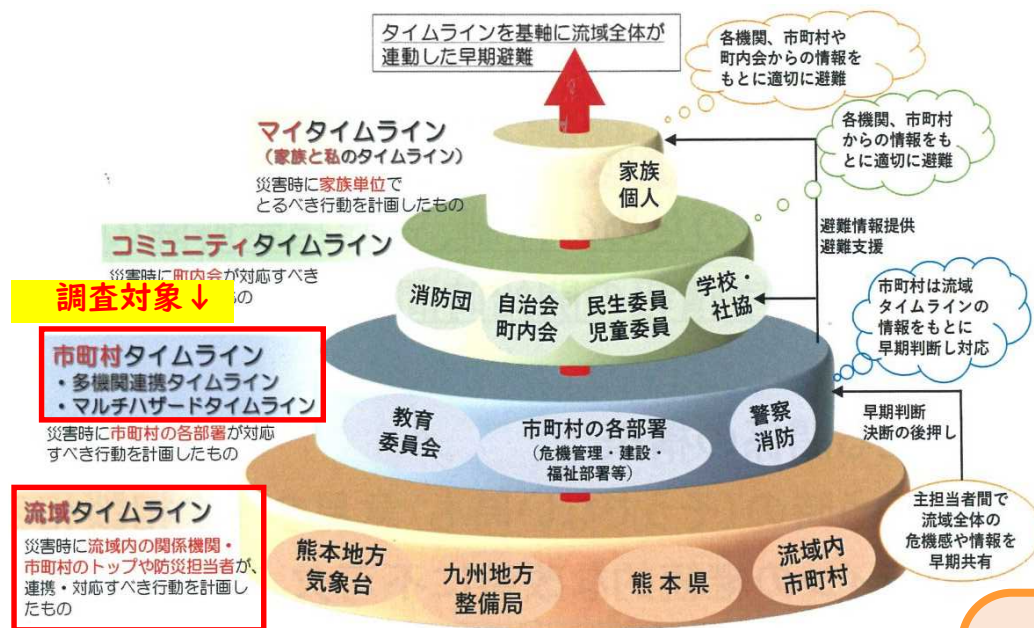
- 滋賀県流域政策局より令和5年3月および令和6年6月に関係市町へ多機関連携型タイムラインのひな型を送付
- 令和6年12月に各市町の多機関連携型タイムラインの作成状況や課題について照会

市町タイムラインの作成状況や課題

滋賀県下の市町の多機関連携型タイムラインの作成状況や課題を取りまとめ、次回の担当者会議もしくは協議会で情報共有を予定

瀬田川・野洲川地域安全協議会での取組（参考）

- 瀬田川および野洲川地域安全協議会では、左図に示されている**流域**タイムラインを作成中
- トリガーが瀬田川や野洲川の河川水位となっていることから更なる更新が必要な状況



各協議会↑
で毎年確認

出典：流域タイムラインの策定と運用より
(一般財団法人 全国建設研修センター)
(一般社団法人 建設コンサルタンツ協会)

【〇〇市町】大規模水害対策タイムライン（多機関連携型）

令和〇年〇月〇日版

	気象事象・情報	発生事象 河川情報	土砂災害情報	避難所 〇〇土木事務所	防災危機管理局	国土交通省 琵琶湖河川事務所	配備体制	〇〇課（防災）	〇〇課（建設）	〇〇市町 〇〇区 （〇〇川、〇〇ダム）	〇〇区 （道路）	〇〇区 （避難所）	消防本部（団）	住民等	
警戒 レベル 1 120時間前 （5日前） ～ 72時間前 （3日前）	☐ 台風発生 ・台風北上・上陸の可能性大 ・台風に関する記者会見			☐ 関係機関・協力機関の体制確認 ☐ ハトール出動 ☐ 関係等への注意喚起 ☐ 水位通報等の準備（土木防災情報システム）		☐ 市町ホットライン連絡先の把握、自治体の連絡先窓口の把握 ☐ 機関の名称・操作確認 ☐ 災害対策用資機材・復旧資機材等の確保 ☐ リエゾン体制の確認 ☐ 協力機関の体制確認 ☐ 体制確認（機械・電気系業者、巡回業者、維持業者、運転業者）		☐ 気象情報の収集（本市町への影響等） ☐ 市町各部署への情報伝達、注意喚起	☐ 水防倉庫の資機材確認 ☐ 気象情報の確認、情報収集 ☐ 河川監視カメラ、市町内監視カメラの動作確認 ☐ 〇〇課の体制確認	☐ ダム貯水位確認		☐ 気象情報の収集 ☐ 各署にて水防活動の準備		☐ 気象情報の確認 ☐ 避難所・避難経路の確認 ☐ 防災グッズの準備	
	☐ 台風直撃の可能性大												☐ 職場・自宅待機		
24時間前 （1日前）	☐ 台風に関する記者会見（特別警戒発表の可能性示唆） ☐ 台風説明会（彦根地方気象台）				☐ 台風説明会（気象台）を受け、危機管理委員会開催、タイムラインの共有、各部体制等の確認を指示 ☐ 関係機関との連絡体制確認 ☐ 県民への注意喚起メッセージ発信（HP、防災アプリ等）										
		☐ 〇〇川水防即時機水位到達（〇〇川 〇地点 〇m） ☐ 水防警戒（準備）発表		☐ 水位通報等（伝達確認） ☐ 河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認 ☐ ハトール出動 ☐ 重要水防箇所などの再確認									☐ 風水害対策会議（消防本部） ☐ 出動準備 ☐ 消防整備本部設置 ☐ 消防職員・団員全員召集		
警戒 レベル 2	☐ 大雨・洪水注意報			☐ 警戒第1号体制【第一配備1号体制】（水防1班体制）	☐ 災害警戒準備体制（大雨等注意報発表）		警戒1号体制	☐ 土木事務所との情報共有体制の確認 各部署への事前準備対応指示 ☐ 防災無線、通信機器、衛星携帯電話、災害用パソコン等の準備 関係部署職員招集 ☐ 警戒体制の確立（テレビ会議・河川監視カメラ等） 指定避難場所への事前連絡 ☐ 気象情報、河川・ダム水位確認 ☐ 住民に対し災害注意情報発信 ☐ （緊急通報システム・メール・一般配信・ホームページ・ツイッター・FM・同報系屋外放送・防災アプリ）	☐ バトール図面、土砂災害・急傾斜地の指定台帳、水門・堰管理台帳の準備 資料業者（土砂）へ連絡、体制の確認 ☐ 応急復旧対応可能業者選定、連絡体制確認 道路河川課資機材準備 ☐ ・バトール用公用車、ダンプトラックの整備（ガソリン補充、バトール動作確認等） ・機中電灯（配電池含む）、誘導灯準備 チェーンソーの動作確認（燃料のストック確認） ☐ 〇〇川の主要河川のバトール・水門・堰：〇箇所 ・調整池：〇箇所 ☐ 水門・堰管理者への連絡、一級河川に関するものは管理調整課へ連絡	☐ ダム水位、放流等の確認 ・〇〇ダム ☐ 河川防災カメラ確認 ・〇〇川（〇〇橋） ☐ 河川水位確認 ・〇〇川（〇〇橋） ☐ 河川状況確認 ・〇〇護岸	☐ 累加雨量のチェック【基準】 ・〇〇mm 〇〇mm ・〇〇mm 〇〇mm ☐ 道路状況確認（冠水確認）【場所】 ・アンダーパス ・〇〇地先 ・〇〇地先				
警戒 レベル 2 （相当）		☐ 注意警戒情報 ☐ 〇〇川注意警戒水位到達（〇〇川 〇地点 〇m） ☐ 水防警戒（出動）発表		☐ 『注意警戒水位（注意警戒情報）』（伝達確認） ☐ 河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認 ☐ ハトール出動 ☐ 河川防災カメラ監視強化 ☐ 応援体制の確認、市町連絡調整員の派遣調整 ☐ 重要水防箇所などの対応確認		☐ TE派遣職員の選定 ☐ リエゾン派遣の選定 ☐ ポンプ車・照明車の出動準備、操作業者の参集確認 ☐ 画像配信要請への対応、支援台帳の整備			☐ 増水河川に架かる橋梁、浸水した道路（アンダーパス等）については状況により通行止（危機管理課、警察へ連絡） ☐ ダム放流通知により現地の状況確認	☐ 河川水位監視	☐ 市内監視カメラで状況を把握（適宜） 事前通行止め ☐ 【路線】 ・〇〇線 ・〇〇地先 ☐ 危機管理課、警察、自治会へ連絡	☐ 管内バトール出動 ☐ 管内危険箇所監視			
警戒 レベル 3 （相当）	☐ 大雨・洪水警戒			☐ 警戒第2号体制【第一配備2号体制】（水防2班体制）	☐ 災害警戒体制（大雨等警戒発表）		警戒2号体制	☐ 災害対応時資機材の準備 ☐ 河川水位、降雨量の常時監視 ☐ 水門操作班出動 ☐ 開設予定避難所の確認、事前連絡 ☐ 住民宛災害注意情報発信（市町民メール） ☐ 要配慮者への連絡	☐ 危険箇所のバトールを適宜実施 ・場所：〇〇〇	☐ 〇〇川の監視 ・〇〇橋水位計監視 ・〇〇橋危機管理水位計監視 ・〇〇ダム放流量監視 ☐ 河川監視カメラで状況を把握（適宜） ※確認できない河川については必要によりバトールを実施		☐ 人員の確保			
警戒 レベル 3 （相当）		☐ 注意警戒情報 ☐ 〇〇川避難判断水位到達（〇〇川 〇地点 〇m） ☐ 〇〇川 〇地点 〇m	☐ 土砂災害降雨危険度（赤）	☐ ホットライン（危機・防災対策課と土木事務所） ☐ 『避難判断水位（注意警戒情報）』（伝達確認） ☐ 河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認 ☐ 出水時点検（巡視） ☐ 河川防災カメラ監視強化 ☐ 応援体制の確認・要請	☐ 情報収集 ・気象情報 ・市町の体制 ・避難情報 ・避難所開設状況 ・被害情報 ・ライフライン 等々 ☐ 市町に情報連絡員の派遣について打診	☐ ホットラインの実施 ☐ リエゾン派遣の実施 ☐ ポンプ車・照明車の出動準備 ☐ 画像配信要請への対応、支援台帳の整備	災害警戒本部設置 災害対策本部設置	☐ 警戒本部の設置 ・職員招集 ・体制の確立 ・体制配備の報告（市町長・県防災情報システム） ・関係機関への連絡、情報共有（土木事務所、警察） ・気象情報・被害状況の収集、報道対応、情報の発信 ・土砂災害、河川氾濫による避難場所開設検討 ☐ 災害対策本部・災害第1号配備の設置 ・体制配備の報告（県防災情報システム） ・関係機関への連絡、情報共有 ・災害発生状況の把握 ・気象、河川水位、ダム放流の情報確認 ☐ 高齢者等避難命令 ・総合配信システム・ホームページ・ツイッター・同報系屋外放送・防災アプリ・車両広報・県防災情報システムにて報告	☐ 〇〇川の監視 ☐ 河川水位監視 ☐ 水位予測で超過予測	☐ 避難所開設検討		☐ 避難所開設 ☐ 避難所運営（職員増強・備用品の配布） ☐ 避難者の確認 ☐ 避難者名簿の作成	☐ 住民等の避難誘導	☐ 指定避難場所、安全な親戚や知人宅に避難（要配慮者） ☐ 自主避難開始	
警戒 レベル 4 （相当）		☐ 注意警戒情報 ☐ 〇〇川注意警戒水位到達（〇〇川 〇地点 〇m） ☐ 〇〇川 〇地点 〇m	☐ 土砂災害警戒情報 ☐ 土砂災害降雨危険度（紫）	☐ ホットライン（市町長と土木事務所） ☐ 河川水位、雨量、降雨短時間予報を確認 ☐ 出水時点検（巡視） ☐ 河川防災カメラ監視強化 ☐ 応援体制の確認・要請	☐ 災害警戒本部（2つ以上の土木事務所管内に土砂災害警戒情報発表、または、県内全域に大雨・洪水・暴風警戒発表） ☐ 本部員会議開催、資料提供 ☐ 要請のあった市町へ情報連絡員を派遣	☐ ホットラインの実施 ☐ ポンプ車・照明車の出動準備 ☐ 画像配信要請への対応、支援台帳の整備		☐ 避難指示発令 ・総合配信システム・ホームページ・ツイッター・同報系屋外放送・防災アプリ・車両広報・県防災情報システムにて報告		☐ 河川水位監視 ☐ 水位予測で超過予測 ☐ ホットライン（市町長と土木事務所長：河川）		☐ 避難者の確認 ☐ 避難者名簿の作成		☐ 指定避難場所、安全な親戚や知人宅に避難 ☐ 避難完了	
警戒 レベル 5 （相当）	☐ 台風最接近 ☐ 大雨特別警戒	☐ 注意警戒情報 ☐ 〇〇川注意開始水位到達（〇〇川 〇地点 〇m） ☐ 〇〇川 〇地点 〇m ☐ 河川堤防決壊	☐ 土砂崩れ、土砂発生	☐ 『注意警戒情報』（伝達確認） ☐ 応援体制の確認・調整 ☐ 被害状況・調査結果の公表、記者発表（決壊・氾濫）	☐ 災害対策本部（特別警戒発表、または大雨、洪水、暴風警戒が発表されて知事が必要と認めたとき、災害救助法を適用するとき） ☐ 本部員会議開催、資料提供 ☐ 知事メッセージ発信	☐ ホットラインの実施 ☐ ポンプ車・照明車の出動準備 ☐ 画像配信要請への対応、支援台帳の整備	☐ 緊急安全確保発令 ☐ ・総合配信システム・ホームページ・ツイッター・同報系屋外放送・防災アプリ・車両広報・県防災情報システムにて報告 ・県防災情報システムにて報告 ☐ 被害状況の報告（防災情報システム） ☐ 被害発生による外部機関要請の判断		☐ 河川水位監視 ☐ 水位予測で超過予測	☐ 緊急輸送路の状況確認		☐ 水防活動 ☐ 災害救助活動 ☐ 捜索活動	☐ 安全を確保する行動		
1時間後～								☐ 被害状況の報告（防災情報システム）	☐ 被害状況の調査（市町内）を行う 一必要により応急復旧の対応（対応可能な業者） ☐ 被害状況管理データベースへの入力、被災箇所の整理 ☐ 危険管理課へ災害報告 ☐ 県庁下水道課（雨水幹線）へ状況報告	☐ 被害状況の調査（市町内）を行う 一必要により応急復旧の対応（対応可能な業者） ☐ 被害状況管理データベースへの入力、被災箇所の整理 ☐ 被害状況管理データベースへの入力、被災箇所の整理 ☐ 危険管理課へ災害報告 ☐ 県庁下水道課（雨水幹線）へ状況報告	☐ 被害状況の調査（市町内）を行う 一必要により応急復旧の対応（対応可能な業者） ☐ 被害状況管理データベースへの入力、被災箇所の整理 ☐ 被害状況管理データベースへの入力、被災箇所の整理 ☐ 危険管理課へ災害報告 ☐ 県庁下水道課（雨水幹線）へ状況報告				
6時間後～		☐ 水位低下											☐ 実働作業終了		
12時間後～ 72時間後				☐ 土木施設の被害状況調査 ☐ 応急復旧対策	☐ 本部員会議開催、資料提供 ☐ （必要に応じて）自衛隊へ派遣要請等の情報収集 ☐ 情報連絡員による市町への応援要請等の情報収集 ☐ 国、広域連合等との支援調整		☐ 各部署への応急復旧対応指示 ☐ 復旧に係る県、国との調整 ☐ 関係機関との調整（土木事務所・警察署） ☐ 応援協定先への要請 ☐ 被害状況の情報発信 ☐ ・総合配信システム（緊急通報・一般配信）・エリアメール・ホームページ・ツイッター・FM・防災アプリ					☐ 復旧作業協力 ☐ 警戒体制への移行・解除の判断 ☐ 団員解散	☐ 帰宅		